

団体会員の技術紹介

会社名：パナソニック ホールディングス株式会社

※ 2022年4月1日に、「パナソニック株式会社」より社名変更

本社：大阪府門真市大字門真 1006 番地

設立：1935年12月（創業 1918年3月）

資本金：259,168 百万円（2022年3月31日現在）

代表者：代表取締役社長 楠見 雄規

当社は、洗濯機やエアコンなどの白物家電から、配線器具や太陽光発電システムなどの住宅設備、車載用リチウムイオン二次電池、電子回路部品、車載システム、航空機内エンターテインメントシステムまで様々な商品やサービスをご提供しています。今後、当社グループの幅広い事業領域を活かし、自社のCO₂排出を減らし、くらしやビジネスにおけるCO₂削減に貢献する様々な活動のインパクトを広げること社会とともにカーボンニュートラルを目指します。

技術紹介

<(住宅用) リチウムイオン蓄電池システム「創蓄連携システム S + (プラス)」>

創蓄連携システム（図1）は、太陽電池モジュールでつくった電気を蓄電池にためて、平常時も停電時も効率よく電気を活用できます。さらに、スマート HEMS『AiSEG2』や電気自動車用充電設備『ELSEEV hekia S mode3』と連携して、家のエネルギーを賢くマネジメントできます。以下に特長を説明します。

①スマート HEMS『AiSEG2』との連携

【特長1】カスタム運転モード

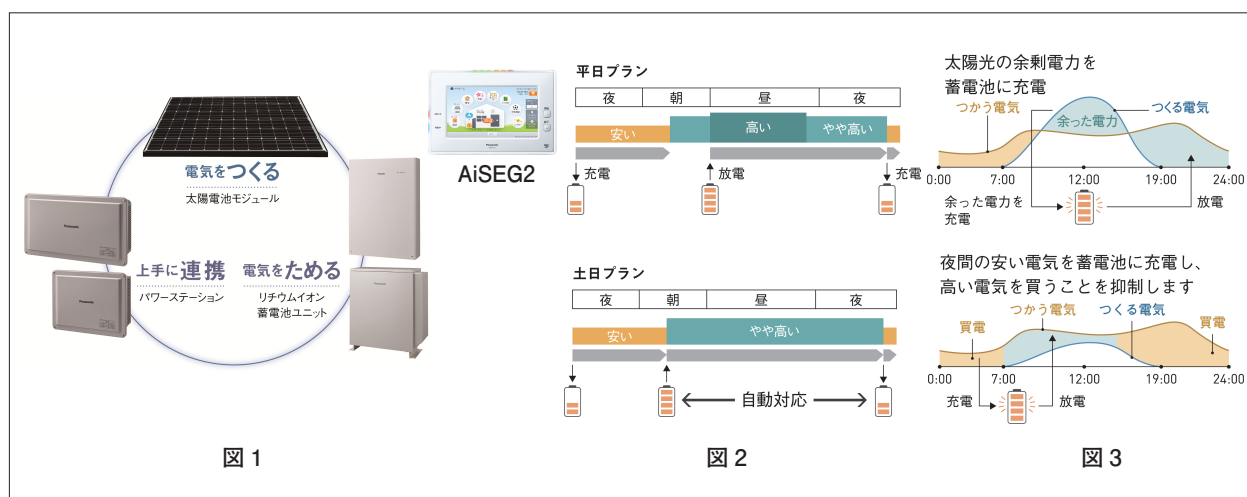
AiSEG2に電気料金プランを設定すれば、「平日プラン」「土日プラン」など、そのプランの電気料金に合わせて自動で創蓄連携システムを充放電します。（図2）


【特長2】AIソーラーチャージ（太陽光活用モード）

翌日の天気予報を AiSEG2 がチェックし、明日の天気予報が晴れなら、太陽光の余剰電力を蓄電池に充電します。晴れ以外なら、夜間の安い電気を充電し、昼間の高い電気を抑えることを抑制します。（図3）

②スマート HEMS『AiSEG2』と電気自動車用充電設備『ELSEEV hekia S Mode3』との連携

AiSEG2とELSEEV hekia Sが創蓄連携システム S + と連携して、さまざまな状況にあわせて、最適な電気自動車充電をおこなう新機能を今年夏にリリースしました。





AiSEG2 **ELSEEV hekia S Mode3**

特長 1：スピード充電

今まで…

出かけたのに電気自動車の充電が空っぽ！

走る分だけでも充電したいけど、電気をたくさん使って充電が抑制されるやう…

電気自動車

FULLPOWER /

特長 2：レジリエンス

今まで…

停電時にも電気自動車を充電したいけど、消費電力が多すぎて充電できない…

電気自動車

特長 3：クリーンドライブ

今まで…

電力会社から買った電気で充電

CO₂

AiSEG2 × ELSEEV × 創番連携システムS+

おうちの消費電力が多く、電気自動車への充電が抑制^{※1}されるとき、AiSEG2が蓄電池の放電を制御し自動アシスト可能^{※2}です。

蓄電池からELSEEVへの放電を表示

スマートコスモ

電気自動車

蓄電池にためた電気でも充電できるから充電時間が短縮できた！

AiSEG2 × ELSEEV × 創番連携システムS+

停電時にAiSEG2がELSEEVへの低速充電制御をするので、おうちの家電・設備を使いながら、電気自動車にも充電可能^{※3}

電気自動車への充電の抑制を指示

電気自動車

充電量を絞りながら低速充電

電気自動車の充電もできる^{※4}し、他の機器でも電気が使える！

AiSEG2 × ELSEEV × 創番連携システムS+

太陽光でつくって蓄電池にためた電気を使って充電^{※4}するので、クリーンな電気での走行が可能！ELSEEVの充電にあわせ、蓄電池の放電開始をAiSEG2がコントロール^{※4}してくれます。

放電開始をコントロール

CO₂

< (公共・産業用) 可搬型バッテリー「e-block (イーブロック)」 >

電気を持ち運んで、必要なときに必要なだけ使える可搬型バッテリー「e-block」を2021年6月に発売しました。重さは約3kgで片手で持ち運べるぐらいの小型・軽量設計です。電源がない場所でも専用充放電器と組み合わせてシーンに応じて使い分けすることができます。スマートフォンアプリと無線通信させることでバッテリー状態を確認でき、バッテリー残量低下時や異常発生時にプッシュ通知が可能です。

例えば、平常時にオフィスのフリーアドレスなど電源のない場所で使用したり、非常時に避難所など電源が必要な場所に複数人でシェアして使用したりすることを想定しております。電源をストックして交換しながら使うので、防災備蓄用の電源と普段使いの電源を両立して使用することが可能です。今後は、更なるアプリケーションの拡大を進めていきます。

充電する



イーブロック (可搬型バッテリー)

イーブロックスタンド (専用充放電器)

イーブロックスタンド (専用充放電器)

イーブロックステーション (専用充放電器)

イーブロックを持ち出す



満充電



残量低下



イーブロックのみ交換

イーブロック単体



イーブロックデスクと組み合わせ



イーブロックスタンドと組み合わせ



使う

商品のホームページ： <https://sumai.panasonic.jp/>